

研究におけるオプトアウト

研究課題名	入院患者の頓用処方見直しによる多職種業務への影響
研究実施機関名 研究責任者	さいたま赤十字病院 薬剤部 吉規友望
研究代表施設 および代表研究者	さいたま赤十字病院 薬剤部 吉規友望
研究期間	2023年5月1日～2024年6月30日
研究の目的と意義	整形外科入院患者に対して、薬剤の必要性の有無に関わらず処方される頓用薬の処方内容を見直し、医師へ変更依頼をおこなうことで、未使用の頓用薬の返品にかかる業務負担が減少するかを検証する。
本研究の対象となる方	返品伝票処理に携わった当院病棟看護師、薬剤師、事務職員
提供していただく情報	<ul style="list-style-type: none"> ・一人当たりの返品伝票の記入時間 ・病棟配置薬(セットボックス内)を使用する頻度 ・医師へ頓用薬の処方追加依頼をする頻度 ・整形外科の頓用指示薬の処方量 ・返品伝票1枚処理するのにかかる時間 ・1日当たりで返品伝票処理に関わる時間 ・返品伝票枚数は変化したとを感じるか ・整形外科以外でも頓用薬の処方回数を減らした方が良いと思うか
研究内容	整形外科の頓用処方見直しによる返品伝票枚数変化の解析と業務負担についてのアンケート調査
個人情報の取り扱い	個人情報が漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先	所属:さいたま赤十字病院 氏名:吉規 友望 住所:埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話:048-852-1111 内線:3423